

法人（事業所）理念		すべての子どもが、いのち輝かせ、自分らしく成長・発達し、共に生きる地域社会を目指します。	
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人ひとりの個性を尊重し、発達段階に合わせた療育を行います。 ・遊びや体験を通して、主体性、社会性、自己表現の力を育みます。 ・家族の思いや願いに寄り添い、暮らし子育てを支えます。 ・各関係期間と連携し、ライフステージに合わせた暮らし子育ての実現を支えます。 ・障害児、障害者の理解への輪を広げ、地域福祉の拠点となるよう努めます。 	
営業時間		<ul style="list-style-type: none"> ・ 9：30～12：00（1歳～2歳） ・ 9：30～14：00（3歳～5歳） ・ 9：30～13：00（重症心身障害児） 	送迎実施の有無 無
支援内容			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・健康状態の把握（視診、検温）、個々の生活リズムを把握し、適切な働きかけを行います。 ・体調を整える工夫を積極的に行います。（手洗い、水分補給、換気、室内の温度調節、衣服の調節など） ・体力や家庭状況に考慮しながら、登園を積み重ねていけるようになる。 ・構造化を意識した部屋のレイアウト・掲示に配慮します。 ・日常生活動作（食事・排泄・着脱・生活）の自立をめざす支援を行います。 	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の中で、理学療法士による粗大運動、姿勢保持等の指導を取り入れ、支援を行います。 ・リズム運動を通して、体幹、身体のバランスの能力の向上を図るようにします。 ・作業療法士による指導援助のもと、手指の巧緻性の向上を促す支援を行います。 ・感覚や認知の特性（感覚の過敏や鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りに対する調整等の支援を行います。 	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に対応した、数量、大小、色、形などの認知、概念の習得を支援します。 ・視覚、聴覚、触覚等の感覚を活用して、行動に繋がられるように支援します。 ・小集団における活動の行動形成や認知の偏りの配慮を行います。 ・個別療育の中で、読み書き能力の向上を行います。 	
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な言葉使いや、コミュニケーション能力の獲得ができるような支援を行う。 ・人との相対的な言葉でのやり取りができるような働きかけ（相手の意図や自分の思いの伝え方）を行う。 ・絵カードを使っての視覚化を行い、言葉の表出や受容ができるよう支援します。 	
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・大人や友達と関わり、一緒に活動する中で、対人意識の向上をめざします。 ・遊びを通して、お互いの意思表示ができる社会性の向上をめざします。 ・生活や遊びの中で、順番や交代などの社会性を培うようにします。 ・小集団療育の中で、みんなで楽しむ経験を重ね、集団への参加意識を高めるとともに、成功体験、自己肯定感を感じられるように支援します。 	
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・子育ての悩みや困りごとの相談に応じ、本人の成長発達を伝える場を半年に1度の面談を行います。 ・保護者会や隔月の保護者通園を行うとともに、療育の見学は、要望によりいつでも応じます。 ・保護者の交流会や、専門職による講和などを行います。 	
移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージに合わせた移行に向けた準備や地域の繋がりを一緒に考えていく。 	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関、保健所、児童相談所等の専門的機関との連携 ・教育機関との連携 ・個別のケース検討会議、担当者会議への出席 	
職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内研修（虐待防止事例検討会・研修、ケース支援会議など） ・外部研修 ・他事業所等の見学 	
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・季節に合わせたイベント（七夕・夏祭り・ハロウィン、クリスマス・節分）卒室お祝い会・誕生会 ・ミニ運動会、・文化行事 ・避難訓練（火災、地震、不審者対応）・保護者交流会 ・子ども食堂 	